

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2001-255803 (P2001-255803A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 21 日 (2001.9.21)
 【出願番号】特願 2000-64515 (P2000-64515)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/04 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 4

G 0 3 G 15/04 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 28 日 (2006.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】装置本体に対して開閉可能な開閉部材に露光部を配設した電子写真記録装置において、

前記露光部を支持する伸縮可能な伸縮機構と、

前記伸縮機構を伸縮させるギア機構とを設け、

前記ギア機構は前記開閉部材の開閉動作に連動して動作し、前記開閉部材を開く際に前記伸縮機構により前記露光部を退避させ、前記開閉部材を閉じる際に前記伸縮機構により前記露光部を進出させることを特徴とする電子写真記録装置。

【請求項 2】装置本体に対して開閉可能な開閉部材に露光部を配設した電子写真記録装置において、

前記露光部を支持する折りたたみ可能な折りたたみ機構と、

前記折りたたみ機構を動作させるギア機構とを設け、

前記ギア機構は前記開閉部材の開閉動作に連動して動作し、前記開閉部材を開く際に前記折りたたみ機構により前記露光部を退避させ、前記開閉部材を閉じる際に前記折りたたみ機構により前記露光部を進出させることを特徴とする電子写真記録装置。

【請求項 3】前記露光部は、弾性部材を介して支持されるとともに、前記開閉部材が閉じた状態では画像形成ユニットに位置付けられ、前記開閉部材が閉じられる際、前記伸縮機構が進出した状態で前記露光部が画像形成ユニットに位置付けられる請求項 1 又は 2 に記載の電子写真記録装置。

【請求項 4】前記ギア機構はトルクリミッタを有する請求項 1 又は 2 に記載の電子写真記録装置。

【請求項 5】前記露光部は、前記開閉部材の開閉回動軸と平行に配設される請求項 1 又は 2 に記載の電子写真記録装置。

【請求項 6】前記露光部は、前記開閉部材の開閉回動軸に直交する方向に配設される請求項 1 又は 2 に記載の電子写真記録装置。

【請求項 7】前記露光部は複数配設され、前記開閉部材が開動作を行なう際、前記複数の露光部の前記開閉部材の回動軸側の一部のみが退避する請求項 1 又は 2 に記載の電子写真記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明は、装置本体に対して開閉可能な開閉部材に露光部を配設した電子写真記録装置において、前記露光部を支持する伸縮可能な伸縮機構機構と、前記伸縮機構機構を動作させるギア機構とを設け、前記ギア機構は前記開閉部材の開閉動作に連動して動作し、前記開閉部材を開くときは前記伸縮機構により前記露光部を縮退させ、前記開閉部材を閉じるときは前記伸縮機構により前記露光部を進出させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また露光部を、弾性部材を介して支持するとともに、前記開閉部材が閉じた状態では画像形成ユニットに位置付けられるようにし、前記開閉部材が閉じられる際、伸縮機構が進出した状態で前記露光部が画像形成ユニットに位置付けられるようにする。